



Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

宮城県

I・Kさん

この度は「橋本給付金」と「図書カード」をありがとうございました。

主人が亡くなった時、9歳だった長男がこの度高校生となります。大きな反抗期はなかったものの、受験校を決める際は意見が合わず、とても悩みました。大事な時に相談できるはずの主人がいなく、悲しい思いもしました。最終的には息子の意見を尊重し決めましたが、親の言うとおりにならないくらい自立し、成長したんだな…と感じました。中学校の卒業式でもらった手紙に「自分で選んだ学校だから精一杯頑張りたい」と決意がしたためられていました。

進学に向けて準備するものの多さに驚きながらも、楽しい日々を送っております。給付金を大切にに使わせて頂きます。ありがとうございました。

新潟県

T・Sさん

この度、長男の高校入学と次男の中学入学に際して「橋本給付金」を頂き、本当に感謝します。

夫が他界して丸11年。1歳と4歳だった息子たちもこの春には中学生と高校生になります。

長男は高校受験するにあたり、いままでお世話になってきた交通遺児等育成基金様の事や橋本むつさんのことなどを話し、心配しないで将来への選択肢を広げ高校受験に励んでほしい、と伝えることができました。おかげで志望校にも無事合格でき、現在は入学式を楽しみにしております。次男もいよいよ中学生。部活を楽しみにしております。

2人の息子の卒業と入学が重なったこの春は、私自身もとても忙しく過しておりますが、家族が元気で毎日を過ごせることを本当に嬉しく思います。いつもありがとうございます。

東京都

F・Mさん

今春、京都の大学へ息子が進学することになりました。思ってもみなかった下宿生活。不安な親をさておき、「大丈夫、やってくる」との言葉。顔を見ればしっかりとした表情。

思えば事故から16年間、大変だ大変だと思いながら頑張ってきました。自活できるほどに成長していました。それがあつという間にいなくなることになり、心底寂しくなるも「頑張ってるね！ いってらっしゃい」と言ったのでした。

これからの下宿生活の仕送りに基金が大いに役立ってくれています。ありがとうございました。新しい春の門出。今年はいつもと違う春になりました。



東京都

N・Mさん

この度は中学校へ入学する娘へと「橋本給付金」を頂きまして、親としてはとても助かりました。標準服(制服)などを買い揃えるのに活用させていただきました。

現在、年金暮らしの私の両親との4人暮らしで、私も病気を患い仕事もできません。これからどうなっていくのが心配です。図書カードは本好きな娘の楽しみとして大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。心より感謝いたします。

三重県 Y・Kさん

主人が亡くなりもうすぐ10年、小4だった娘も19歳になり今は社会人として頑張っています。当時は私一人で3人の子を育てることができたのか、また、生活面で不安もありましたが、このような基金があると知り子ども達にもお金を残してあげることもできそうです。

また、私一人がこんなにつらい思いをしているのではなく同じ境遇の方がたくさんいるのだと、そしてそんな中みなさん頑張っているのだと、とても支えになりました。私は幸いに周りの方にも恵まれており、本当にたくさんの方に助けられながらここまでやってこられました。本当にありがとうございました。

東京都 M・Yさん

このたびはありがとうございました。

私にたくさんの方に支えてもらいながら無事高校への進学を決めることができました。私は高校へ入学してからは大学入試に向けた勉強や部活動などに全力で取り組み、夢に向かい充実した時間を過ごしたいと思っています。そして、今まで周りで応援してくださった方々へ恩返しをしたいです。受験の間は特に家族や周囲に迷惑をかけたり、気をつけておいたと思うので、これからは様々なことに取り組み貢献しようと思っています。

寒い日が続きますが、お身体に気をつけてお過ごしください。



匿名希望さん

長い間本当にお世話になりました。主人を事故で亡くしてから早10年、息子が基金を卒業することになりました。

事故当時寂しさと不安に耐え切れず息子の前で泣いてしまったこともありましたが、まだ小学3年生だった息子が「お母さん泣かないで、泣かないで」と慰めてくれたことを昨日の事のように思い出します。その後、反抗期や友人関係のもめ事が重なり大変な時期もありましたが、主人が残してくれた息子をきちんと大人にしないで！という思いで今日まで頑張ってきた気がします。

家事や仕事に追われて一般の家庭より子どもと向き合う時間は少なかったと思います。反抗期まった中の頃は「人様に迷惑をかける子になってしまうのでは…」という不安にも駆られました。19歳になった息子は特に道を踏み外すこともなく、大好きな車関係の仕事に就くため自動車整備の専門学校へ毎日元気に通っています。

不安に押し潰されそうだった頃の自分には「そんなに心配しなくても大丈夫、時間がたてば子供は育つんだから」と声をかけてやりたいです。

神奈川県 M・Yさん M・Aさん

♡娘さんより

皆さま、今まで長きに渡り、ご支援ありがとうございました。おかげで高校から大学へと進学することができました。また、ご支援があったお陰で、部活動と勉強の両立ができたと思っています。大学は自分の興味のある方面へ進むことができ、早いものでもう1年次が完了してしまいました。これから先も皆様のご支援があって今の私があるんだということを忘れずに、頑張っていきたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。

♡お母さまより

主人が亡くなり今年で16年目を迎えます。子どもたちの成長は大変早かったように感じています。長い間のご支援、本当にありがとうございました。

宮城県

H・Mさん

夫が亡くなったのは娘が一歳になる直前でした。あんなに小さかった娘はもう中学生になります。あっという間だったように思うのは、私自身も育児と仕事で忙しく過ごしてきたからだと思います。

娘も少しずつ私の手を離れ、寂しくも思いますが、成長を嬉しくも思っています。そして、色々な方々の支えがあっての今なのだと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れずに歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

北海道

T・Sさん

主人が亡くなってから11年が経ちます。娘は19歳、息子は16歳になり、今回、娘が基金を完了しました。たくさんの方々には支援していただき、とても感謝しています。

主人が亡くなった時、小2だった娘は精神的に不安定になり、学校に行くこともできない日々が続きました。精神面も弱く、いじめにもあったことのある子でしたが…いつの間にか強くなり、自分の意思をしっかりと持ち、去年から夢をかなえるため進学し、一人暮らしをしています。色々な事を経験、勉強し、世界を広げている娘の姿を見ると、胸がいっぱいになります。

あれから子どもはどんどん成長していますが、私はあの時から時間が止まったままだような感じです…それでも子どもが素直に成長し、今の私があるのは、周りの方々には支えてもらっていたからだと思います。たくさんの方々には感謝しながらこれからも子どもも私も頑張っていこう…と思います。ありがとうございました。



奈良県

I・Mさん

いつもお世話になっております。この度は橋本給付金をいただき、ありがとうございました。ただ今娘は成長の著しい時期で、なかなか素直になれなかったりすることがありますが、どんな時でも私は少し距離を保ちながら、娘が自立していく姿を見守って行きたいと思っています。

中学生になると部活動も始まり、家族以外の人たちとのつながりが増えていきますが、そんな中で「自分の夢」を見つけ、それに向かってまっすぐに進んでほしいです。

いただいた給付金は、入学式の洋服代などに使わせていただこうと思っています。高校卒業までまだまだ長い道のりですが、よろしく願いいたします。

北海道

W・Hさん

このたびはたくさんのお心遣いをいただきありがとうございました。無事高校に入学し、ずっと憧れていた吹奏楽の部活に入ることになり、毎日忙しくしています。勉強も大変ですが両立できるように頑張ります。たくさんたくさん、ありがとうございました。

【基金事務局より】

学生のみなさんはもうすぐ待ちに待った夏休みですね。私が大人になってから思うのは、「1カ月以上お休みがあるなんてもうないのだな、もっと充実した夏休みを過ごせばよかった!」ということです。タイムマシンで子ども時代に戻っても、またダラダラ過ごしてしまいそうな気もするのですが…

今号のスマイルズでは、別紙で夏休み映画券プレゼントのお知らせをしています。ぜひご応募いただき、ご家族で映画をお楽しみください。

熱中症や交通安全に気を付けて、思い出に残る夏休みをお過ごしくださいね。